

発行：編集委員会  
 編集：堀江貞雄  
 責任者：  
 事務局：砧第2出張所内  
 電話 (482)0343  
 1990. 3 NO 32



老人クラブは、六〇歳以上の高齢者を以て組織する団体で、友愛・健康・奉仕の生きがいある生活を高めることを目的としておりますが、特に希望されるかたは、年齢に達しなくとも参加出来ることになっております。砧第2出張所管内には、下記の七クラブがあり、クラブにより若干の相違はありますが、昨年度の活動実績によりますと、七クラブの諸行事の合計は、回数二〇九三回、延参加人数は、二七〇二九名の多きを数え、活発に活動しております。運営経費については、区より

管内老人クラブ紹介  
 クラブ一覧表(平成元年度)

クラブ名	会長名	〒	会長住所	電話	クラブの主な区域	主な会場
1 千歳いずみ会	有泉豊作	156	船橋5-19-10	302-0746	船橋1-4・5-7の各1部	船橋地区会館
2 若蛙会	都筑操	156	船橋5-17-1-201	303-0103	西経堂団地	団地集会所
3 むらさき会	国分たき	156	船橋6-21-1-614	304-1196	希望丘団地	団地集会所・千歳温水プール
4 八幡山愛友会	早川志摩子	156	八幡山3-6-22	302-8856	八幡山1、2、3の1部	新樹苑・上北沢地区会館
5 八桜会	吉田清蔵	157	粕谷2-19-27-303	302-0797	八幡山住宅団地	団地集会所
6 日の丸会	高崎末吉	157	粕谷3-18-8	300-8137	粕谷	粕谷八幡神社
7 千歳廻寿会	黒坂富次郎	157	千歳台3-1-3	484-9128	千歳台	廻沢稲荷神社

の助成金・砧地区社会福祉協力会及び町会等の活動奨励金を受ける他、会費として、月一〇〇円前後の負担となっております。(有泉豊作)



活 動 内 容

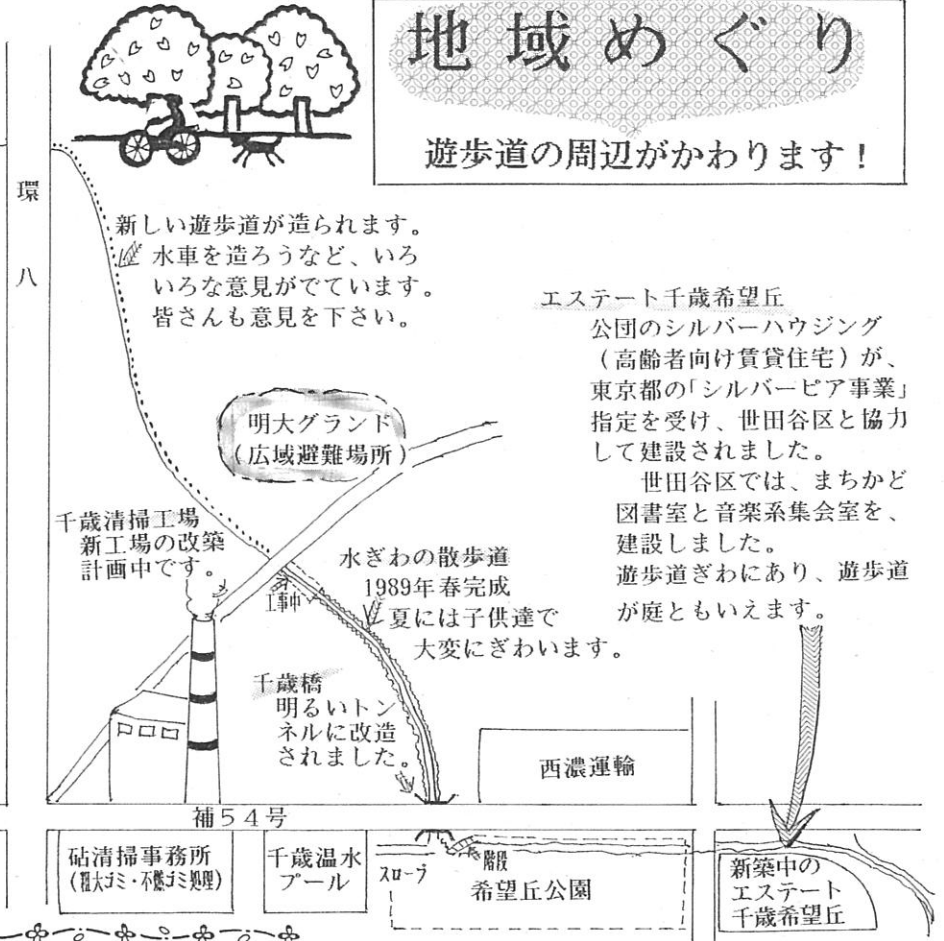
活動内容 クラブ名	社会奉仕活動					教養講座開催活動												スポーツ・振興活動					旅行					
	清掃	資源回収	おむつ	敬老祝金	交通安全	防災防犯	俳句	書道	華道	茶道	囲碁	民謡	おど	詩吟	手芸	ダンス	将棋	謡曲	見学会	三味線	絵画	写真		ゲートボール	歩行会	体操	健康相談	講座
千歳いずみ会		○	○			○		○		○			○	○	○					○	○		○				○	○
若蛙会				○	○								○	○	○			○					○		○			○
むらさき会		○	○												○				○				○				○	
八幡山愛友会	○			○	○						○	○		○									○	○	○			○
八桜会	○	○	○		○						○	○	○										○					○
日の丸会		○	○								○	○		○									○	○				○
千歳廻寿会	○	○	○	○							○	○	○	○			○						○					○

出張所のお知らせ  
 3・4月は、窓口が大変混雑し長時間お待ちする事があります。お急ぎのところ申し訳ありませんが、よろしくお願いたします。



# 地域めぐり

## 遊歩道の周辺がかわります!



エステート千歳希望丘  
 公園のシルバーハウジング  
 (高齢者向け賃貸住宅)が、  
 東京都の「シルバーピア事業」  
 指定を受け、世田谷区と協力  
 して建設されました。  
 世田谷区では、まちかど  
 図書室と音楽系集會室を、  
 建設しました。  
 遊歩道ぎわにあり、遊歩道  
 が庭ともいえます。

**編集後記**

雪どけの小川の岸に、  
 チョコリと顔を出した  
 “ふきのとう” 見ても  
 よし、食してもよし、  
 都会に春の薫りをはこ  
 んできます。

### ★ 軍艦遊技

これは海軍の船に似た役割を決めて遊ぶ、男の子の陣取り遊びだったと思う。戦艦が大将で、巡洋艦・駆逐艦を負かせるが、水雷には負けるし、水雷は駆逐艦に負けるという遊びで、その役分けは学帽の底を前後左右にかぶり分けた。

### ★ コマ喧嘩

都会のペーゴマと遊び方は同じようだが、直径一五cm位の檜の木の胴に1cmの金輪を付けたコマを、麻の紐で相手のコマに投げて弾き飛ばす遊びで、残ったコマが勝ちだった。木の胴が乾くと金輪が外れるのでどぶ等に漬けておいた。

### ★ 竹馬

材料の竹は豊富にあつたし、それぞれが自分の体に合ったものを先輩に真似て作った。3mもある竹馬を、軒庇から乗り出して、疲れると電柱に寄り



昭和十年頃の  
 子供達の遊び  
 (その2)

### ★ 竹馬乗りは足腰

かかって休んだものだ。竹馬乗りは足腰だけで無く腕力が充分でないと、特に高いものには乗れないし、乗る人の顔より竹は長くしないと危険である。

### ★ 凧あげ

凧は戦国武者絵のものが多かったが、五銭位のお小遣いではなかなか買えないので、自作のものを上げた。手造りのものは赤い角凧が多く、父が好きで、奉書四枚半のおおきな凧を作り、その凧が塚戸小の上で藤の弓をウナラせて上がっているのが勇ましかった。

### ★ メンコ

この辺ではメンコといった。厚紙の丸いもので、戦国武将の絵が多かったが、次第に相撲取りの絵形に、そして戦争ものになった。冬羽織りを着ていると、それであおぐのでトラブルの因になった。

### ★ ビー玉・ペーゴマ

都心から移りすむ人が多くなり、その子供達もつて来た遊びで狭い場所や日当たりの良い所で遊べたが、賭博に類するので学校では禁じられ、隠れて遊んでいたようだ。

以上、子供の遊びは様々だったが、これ等の遊びはいつも自由に出来るわけではなく、物日(正月・お節句・お盆・三日正月)等、村が一樣に休む日等大勢で遊ぶことは限られていた。五錢拾銭を懐にひねます、天下御免で遊べたのが遊び日といった、物日のことである。

当時の子供は何かしら仕事を与えられていて空遊びの子(子守りや水汲み畑の手助け等)をしないで遊んでいる子は稀で、それぞれに家の手助けをしながらも、遊ぶときには、先輩達から良い事、悪いことを次々に申し送られるがら育った私達と、同年輩に限られた友達しかいない今の子供達と、何方が幸福なのだろうか。(倉本 十三)